

花巻ファーマー

肉厚で柔らかい 伊藤さんのピーマン



伊藤 邦彦 さん
(石鳥谷町八重畑 42歳)

「自分が育てた野菜を食べてもらえた時や、初めて作った野菜がうまく育った時は嬉しいですね」。そう笑顔で話すのは、花巻ファーマーの伊藤邦彦さんです。

大学卒業後の6年間、県内で会社員として働いていた伊藤さん。平成20年に地元・石鳥谷町にある実家の農業を継ぎました。「転勤で東京にいた頃、改めて地元の食材のおいしさに気付けたこと、そして将来子どもができた時に自分と同じ環境で育てていきたいと思いつき就農を決意しました」と当時を振り返ります。

伊藤さんは、主に水稲やナスなどを栽培しています。中でも現在力を注いでいるのが、今年から栽培をしているピーマンです。ハウス取得に



「柔らかい」と評判のピーマン。生で食べるのもおすすめです

*整枝…主枝以外を剪定し、樹形を仕立てる作業

県の補助金を活用できたこと、ナスと比べ出荷作業が短縮されることで家族との時間を両立できると考え栽培を決定。「10年以上携わってきたナス栽培の経験を活かしながら、水分管理に注意したり整枝(*)を行ったりしています」と伊藤さんは話します。

ピーマン栽培1年目。まさに伊藤さんにとって今年は無量の年となります。「先輩農家さんから日々教わりながらさらにピーマンの栽培を極めていきたい」と意気込みを見せていました。

市民生活コーナー

悪質なクーリング・オフ妨害に注意!

■どんな相談があるの?

○クーリング・オフの通知をした消費者に対し事業者がしつこく電話をかけ、「一部は認めるがこの部分については解約できない」と言って止めさせようとした

○「誰に勧められてクーリング・オフをするのか?」「指示したのは誰だ?」などと言った理由を追究したり、

■注意することは

クーリング・オフを撤回するような圧力をかけられたりした

○クーリング・オフとは、訪問販売や電話勧誘販売で消費者が契約した後、冷静に考え直す時間を与え、期間内であれば消費者から一方的に無条件で契約解除できる制度です。クーリング・オフは全ての契約を解除する制度であるため、「一部しかできない」という説明は

虚偽です。惑わされないようにしましょう

○法律では、消費者が契約解除をするという意思表示をしたら、事業者は撤回することができないと定められています。事業者は適用される取引に関して書面の交付義務を負い、消費者はその書面の交付日からクーリング・オフができます

■問い合わせ・申し込み

○新館市民生活総合相談センター(☎41-3550)へ

健康コラム

知っておこう!マンモグラフィの基礎知識

乳がんは女性がかかるがん第1位です。がんを早期発見するためには検診が大事!乳がん検診といえは、マンモグラフィ検査です。今回は、そのマンモグラフィ検査の基礎についてお伝えします。

●マンモグラフィ検査はやっぱり痛い?

マンモグラフィ検査は、乳房をプラスチックの板で挟んで撮影するレントゲン検査のことを言います。強い力で乳房を挟むため、特に乳腺が発達している若い人は痛みが強い傾向にあります。しかし、乳房を薄く平らに伸ばすことで、より広範囲の画像を撮影することができ、乳がんの特徴的にみられる石灰化の発見に有効です。少しでも痛みを軽減するためには、乳房が張る月経前を避けるのがおすすめです。



●被ばくは大丈夫?

マンモグラフィ検査による放射線被ばく量は極めて少なく、一般の人が1年間に受ける自然放射線量の50分の1とされています。そのため、発がんなどの健康影響の恐れはほとんどありません。

市の検診は2年に1回です。また、40代の方は超音波検査も一緒に実施しています。10月には乳がん検診の追加検診を予定していますので、まだ受診されていない人はぜひこの機会に受けましょう!

【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121)

広げよう 活動の輪

市民活動団体紹介

本の読み聞かせを通じた世代間交流 読み聞かせボランティア おはなしほけっと

※同団体では、会員を随時募集しています

【問い合わせ】
読み聞かせボランティア
おはなしほけっと
代表 山鼻 昭子さん
(☎45-3257)

「おはなしほけっと」は、幼児や小学生を対象に本の読み聞かせなどの活動を行っている団体です。

同団体は、石鳥谷図書館で行われた「読み聞かせボランティア養成講座」の受講生が集まり、平成17年に設立。絵本や紙芝居の読み聞かせのほか、エプロンシアター(*)、手品などで子どもたちを楽しませています。

さらに、市内の青少年の健全育成に取り組んでいる「花巻市青少年育成市民会議」の会員としても活動。他団体と連携し、読み聞かせを通じた青少年の豊かな心を育てる情操教育などに取り組んでいます。

今後も「活動を通じて子どもたちと楽しい時間を共有していければ」と会員の皆さんは笑顔で話していました。

*エプロンを舞台に見立て、フェルトで作られた人形などで物語を演じる人形劇



1 会員の皆さん 2 保育園児に読み聞かせをしている様子



地域おこし協力隊

市民講座「はなまき暮らし部」で陶芸体験を実施しました
-伝統工芸担当 今野 陽介-

ものづくりなど、さまざまなテーマで楽しめる「はなまき暮らし部」。今年2回目となる講座は「台焼の陶芸体験」でした。

窯元・台焼には協力隊の活動の中、新商品の開発や体験の受け入れなどでお世話になっており、今回は5代目の杉村峰秀さんと一緒に講師として参加させていただきました。

ココ・イルバさんの素敵な場所での体験だったこともあり、みなさん思い思いに作品を作っていました。マグカップや盆栽鉢、花瓶やかわ



▲受講者に陶芸を教えている講師の杉村峰秀さん

いい置物など、普段の生活で使える素敵な作品たちが生まれました。自分で作ったものはより愛着が湧きます。講座に参加した皆さんにももらえて私も嬉しくなりました。

また、ものづくりに関わる皆さんへの取材や、商品開発など、協力隊の活動報告もさせていただきます。花巻の人々に活動について知っていただく貴重な機会になりました。

陶芸体験は今後も開催予定ですので、気になる人はぜひ参加していただくと嬉しいです。